

令和7年も

京滋奈会総会

開催します！

開催日：令和7年11月9日（日）
（2025年）

時間：13:00-16:30（予定）

場所：京都駅周辺 会場

*会場等詳細は、決まり次第ご案内いたします。

～年会費のご協力を 宜しくお願いいたします～

年会費
3千円

振込口座：ゆうちょ銀行 四五八 支店（読み よんごはち）
普通預金 口座番号 0960758
名義 京滋奈会（ケイジナカイ）



新規会員様募集

お知り合いをご紹介ください

本会会員は奈良県立医科大学医学部医学科（大学院を含む）同窓生にて、京都府下、滋賀県下に開業または居住し、若しくは勤務されている方、または、京都府外および滋賀県外に勤務または開業している方でもご本人の希望により会員になることが可能です。（京滋奈会会則 第3章会員 より）詳しくは事務局までお問い合わせください。



～京滋奈会総会演者 高橋 幸博先生を囲んで～

今回は、新生児、周産期医療にご尽力された高橋幸博先生に奈良県の周産期医療と課題につき、現在ご勤務先の東大寺福祉療育病院の現況も含め、ご講演を頂きました。新生児、周産期医療では、各分野の専門医の知識を集学的に統合することの重要性を痛感しました。東大寺に関して、古くは、奈良時代から、医療・福祉の原点の歴史もあります。この京滋奈会が、今後も、気軽に談笑できるサロンにさらに発展することを切に願います。

－京滋奈会副会長 談－

編集後記

京滋奈会事務局です。本年度の京滋奈会のご報告（議事録）と会報をお送りいたします。ご意見・ご感想等は、事務局迄お願いいたします。また、会長からのメッセージにございました、奈良医大公式HPの新キャンパスの紹介ページを右記QRコードからご案内いたします。どうぞご覧ください。引き続き、今後とも宜しくお願いいたします。



奈良県立医科大学
京滋奈会

〒634-8521 奈良県橿原市四条町840番地
奈良県立医科大学 地域医療学講座内

TEL 0744-23-9959 / FAX 0744-23-9932
tiiryoun@naramed-u.ac.jp

京滋奈会



会長メッセージ

京滋奈会会員のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、2024年（令和6年）度は奈良県立医科大学で新たなキャンパスが完成した記念すべき年となりました。2025年（令和7年）4月からは医学部の1年生、看護学部生が新キャンパスで学びます。また、多くのクラブ活動が新キャンパスで行われます。新キャンパスは、畝傍山の麓にあるため、「畝傍山キャンパス」と名付けられました。それに伴い、従来からのキャンパスは「四条キャンパス」と呼ばれるようになります。「奈良県立医科大学 新キャンパス」で検索いただくと、新キャンパスについて詳しく知っていただけます。2025年（令和7年）に奈良県立医科大学は創立80周年を迎えました。この1年間は、創立80周年を祝っているいろいろなイベントが計画されています。ぜひ奈良県立医科大学のホームページを定期的にチェックいただき、今後のイベントをご確認ください。今後とも、本学ならびに京滋奈会へのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



令和6年度
京滋奈会理事会・総会
会合のご紹介

日時：令和6年11月10日(日)
場所：ホテル京阪 京都 グランデ
Octavar (オクターヴァ)



「京滋奈会の古老会員」の一人として

奈良県立医科大学医学部医学科 昭和50年卒
土井 渉 先生

昨年は、私は奈良医大医学科同窓会の「卒後50年、ホームカミングデー」に招かれて、大学を見学し、懇親会で祝意を受けました。病棟BC棟の屋上から見る大和三山、いい景色です。畝傍山近くの新校舎がもうすぐ出来上がるそうです。今年は奈良医大創立80周年、終戦からも80年。ついでに昭和100年に当たる年。果てしなく想像が拡がり、回顧とともにこの先を夢見てしまいます。

古い話です。京滋奈会は昭和59年に始まり、40年が過ぎます。

私は大学を卒業して10年頃、京都四条の大丸あたりに「大江戸」という料理屋で、そこに毎年奈良医大卒業生が集まるという、それが京滋奈会でした。私は初参加。短い会議後、飲み食べ、和やかに語らう先輩たちの様子を片隅でじっと見ていたのを鮮やかに思い出します。

大学のこと、医療の状況、昔話で宴が盛り上がっていました。奈良医大草創期に卒業された先生が何人もおられ、最年少の私は大事にされました。年に一度が楽しみになり、会を重ねてきましたが、20年近く経ったのでしょうか、会の支え役に回り、平成20年前後の数年は、会の運営を預かる立場になりました。

総会・懇親会には本部同窓会長や学長先生も参加とエールをいただきました。会員からも興味深い講演を聞くことができました。当時からいい雰囲気集まりでした。ただ、若い人達の参加と加入が課題でした。周知が不十分かもしれないと、反省の連続でした。

バトンを引き継いで、最近では、赤井会長、松尾、山本両副会長のお三方の協力で強力で安定した陣容で運営されています。会員には居心地よく、新しい医学医療の知識の得られる貴重な機会を提供いただいています。ありがたいことです。

私は今、医療の現場から離れました。広く世間を見渡ししながら、浅いけれども視野は拡がり、医学・医療に加えて、政治経済、文化芸術、スポーツ・福祉など、今までになかった色々な領域に関心が深くなり、図書館、古本屋、美術館などを往復しています。毎日の生活の些細なことの味わいと積み重ねが、私のQOLを豊かにしてくれます。楽しんでいます。

結びにあたり、京滋奈会の発展と皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りします。



「平成20年度 京滋奈会総会」
(土井 渉 先生ご提供)

.....土井 渉 先生 ご紹介.....



昭和50年 奈良県立医科大学卒業。京都市立病院臨床研修（内科前後期）
昭和55年 京都市衛生局勤務。昭和60年、京都市伏見保健所醍醐支所長
平成元年 滋賀県立短期大学教授
平成6年 京都市伏見保健所長
平成19年 京都市医務監、京都市保健所長
平成26年 京都地域医療学際研究所がくさい病院、老人保健施設「がくさい」施設長

現在、京都地域医療学際研究所理事、京都府医師会会員、
日本内科学会認定総合内科専門医

.....